

スクールカウンセラーだより

みよし市立緑丘小学校 金崎有結美



保護者のみなさまへ

スクールカウンセラーの金崎です。元旦、私は、家族で【まかいの牧場】へ富士山と初日の出を見に行きました。きれいに見えました！そこで、年男・年女の坂道競走があり、午年の娘も参加し、早朝から、必死に走る姿を見てすがすがしい気持ちになりました。

【「対話」と「時間を置く」ことの大切さについて】

保護者のみなさまの心の中に、大切にしたいことや意識してがんばりたいことがきっとあると思います。

私は、【対話を大切にする】を意識したいと思っています。なぜならば、便利なツールがたくさんある中、対面で話すことは、【相手を理解する】ことにつながると感じるからです。文字の羅列だけを見て感じることと、相手の表情・声のトーン・会話の間をつかんで理解することでは、大きな違いがあると思います。

そして、対面のよいところは、相手の伝えたいことを理解しようしたり、誤解を解くことができたりするところです。

そのプロセスは、面倒なことかもしれません、互いに理解を努めることは多様性に触れる経験につながります。面倒なことにこそ意味があるのかもしれませんね。

【時間を置く】こと

日常生活の中で、調子に波があることは自然なことです。いつもなら気にならないことが気になったり、イライラしてしまったりすることがあると思います。

言い合いになった際、【後で話そう】を意味する料理界のサインがあるそうです。それは、自分の胸を拳でポンポンと2回たたくこと。

ついカッとなり言い過ぎてしまうことで、関係が悪化したり後悔したりすることがあります。しかし、時間を置くことで、互いが冷静になるための時間稼ぎになると思われます。

料理界では、自分の胸を拳でポンポンがサイン、我が家ではどのようなサインにしようかな…と考えているところです。今年もよろしくお願ひします。

【中日新聞1月1日より一部抜粋】

